

社団法人 日本病院会 平成18年度 第12回 定例常任理事会 合同会議 概要報告
第4回 定例理事会

日 時 平成19年3月24日(土) 午前11時～午後12時30分

場 所 東京都・中央区 ロイヤルパークホテル 2階「春海の間」

出席者 50名(定数60名、出席39名、委任状11名、計50名で過半数を超え会議は成立)

山本会長から、開会挨拶が述べられた後、議事録署名人に齋藤洋一、土谷晋一郎両理事を選任し、議案審議に入った。

〔承認事項〕

1. 会員の入退会について

正会員の退会10件(役員の慰留等を実施済み)、賛助会員の退会9件の届出、について協議した結果、届出を承認した。また、正会員の退会撤回1件について報告があった。3月24日現在、正会員2,690会員(公的937会員、私的1,753会員) 賛助会員495会員(A会員118会員、B会員335会員、D会員42会員)

2. 各団体からの依頼について

下記依頼事項について協議した結果、依頼を承認した。

(新規:委員)

①治験に関する懇談委員(厚労省・医薬食品局)

推薦候補者: 堺 常雄 先生

②未収金に関する検討会委員(厚労省・保険局)

推薦候補者: 崎原 宏 理事

③治験拠点医療機関の申請に対する評価の委員(厚労省・医政局)

推薦候補者: 村上 信乃 副会長

(継続:委員)

①理事の再任依頼(財団法人 国際医療技術交流財団)

委嘱者: 山本 修三 会長

②評議員の継続就任依頼(財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会)

委嘱者: 佐藤 眞杉 副会長

(継続:協賛・後援等)

①日本健康科学学会第23回学術大会の協賛名義、機関紙への一般演題募集について

て(日本健康科学学会)

②第 29 回 ME 技術講習会の協賛名義 (日本生体医工学会、医療機器センター)

③第 55 回医療社会事業全国大会・第 27 回日本医療社会事業学会の後援名義

(日本医療社会事業協会、日本医療社会事業全国大会、日本医療社会事業学会)

3. 新代議員の選出について

12 月 1 日の選挙告示後、各都道府県から 117 名(公的 54 名、私的 63 名)の新代議員(平成 19 年 4 月 1 日～22 年 3 月 31 日)が選出され、理事会での審議した結果、届出を承認した。

4. 平成 19 年度事業計画(案)について

平成 19 年度の事業計画(案)として、新規事業等を中心に逐一説明があり、原案を承認した。原案については同日開催の代議員会、総会に上程することとなった。

(事業計画・新規分)

1. 病院職員の養成・確保に関する事項

- ・人間ドック健診情報管理指導士の養成

2. 公衆衛生と地域医療に関する事項

- ・特定健診・特定保健指導に関する調査研究

3. 認定個人情報保護団体に関する事項

- ・対象事業者の個人情報取扱いに関する苦情処理
- ・個人情報に関する情報収集並びに情報提供
- ・対象事業者に対する研修の実施

4. 関連事業

- ・第 57 回日本病院学会の開催(学会長:藤原秀臣 総合病院土浦協同病院病院長)
(平成 19 年 6 月 14 日(木)～15 日(金)・つくば市)
- ・第 48 回日本人間ドック学会学術大会(学会長:中村治雄 三越厚生事業団常務理事)
(平成 19 年 8 月 30 日(木)～31 日(金)・東京都)
- ・第 33 回日本診療録管理学会学術大会の開催
(学会長:武田 隆男 武田病院グループ会長)
(平成 19 年 9 月 13 日(木)～14 日(金)・京都市)
- ・国際モダンホスピタルショー(IMHS) 2007 の開催
(平成 19 年 7 月 11 日(水)～13 日(金)・東京都)

5. 病院経営に関する委員会

- ・病院幹部医養成委員会の設置
- ・事務管理者委員会の設置

6. セミナー計画

- ・医療安全管理者養成セミナー(仮称)の開催
- ・感染制御セミナー(仮称)の開催
- ・臨床研修指導者養成セミナー(仮称)の開催

上記の養成事業は、四病協の研修・認定センターで事業を実施していたが、一度、白紙に戻し各団体で養成を図ることとした。

7. 認定個人情報保護団体の研修事業

- ・個人情報保護対応研修会(仮称)の実施

8. 人間ドック認定医研修会及び人間ドック健診情報管理士養成実施計画

- ・人間ドック健診情報管理指導士養成研修会の実施

9. 四病協・研修・認定センター講習会(平成18年度の継続分)

- ・第5回感染管理講習会の実施

10. 役員会等の開催計画について

- ・常任理事会、理事会、代議員会・総会、病院長・幹部職員セミナー等の開催要領。

5. 平成19年度収支予算(案)について

平成19年度の収支予算(案)の骨子について逐一説明があり、協議の結果、収支予算(案)を了承し、同日の代議員会、総会に上程することとした。

平成19年度 収支予算書総括表(案)

平成19年4月1日～平成20年3月31日

社団法人 日本病院会

(単位:円)

科 目	合 計	一 般 会 計	事業特別会計	基 本 財 産 特 別 会 計	退職手当積立金 特 別 会 計	I H F国際交流 基金特別会計	事業安定推進 基金特別会計
I. 収入の部							
1. 会費収入	304,482,000	304,482,000	0	0	0	0	0
2. 事業収入	679,225,000	8,915,000	670,310,000	0	0	0	0
3. 賛助会員会費並に寄付金	30,500,000	30,500,000	0	0	0	0	0
4. 雑収入	21,723,000	21,550,000	40,000	54,000	25,000	49,000	5,000
5. 他会計より繰入金収入	331,597,000	306,597,000	0	0	5,000,000	20,000,000	0
当期収入合計	1,367,527,000	672,044,000	670,350,000	54,000	5,025,000	20,049,000	5,000
前期(一般)繰越収支差額	1,024,563,000	4,709,000	0	190,807,000	94,343,000	127,596,000	607,108,000
収入合計	2,392,090,000	676,753,000	670,350,000	190,861,000	99,368,000	147,645,000	607,113,000
II. 支出の部							
1. 事業費各種	788,905,000	198,152,000	563,753,000	0	0	27,000,000	0
2. 助成・負担金	76,877,000	73,962,000	0	0	0	2,915,000	0
3. 会議費	42,511,000	42,511,000	0	0	0	0	0
4. 事務諸費	325,519,000	325,519,000	0	0	0	0	0
5. 他会計へ繰入金支出	331,597,000	25,000,000	106,597,000	0	0	0	200,000,000
6. 予備費	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0
当期支出合計	1,566,409,000	666,144,000	670,350,000	0	0	29,915,000	200,000,000
当期収支差額	△198,882,000	5,900,000	0	54,000	5,025,000	△9,866,000	△199,995,000
次期繰越収支差額	825,681,000	10,609,000	0	190,861,000	99,368,000	117,730,000	407,113,000

6. 人間ドック健診施設機能評価の認定について

下記施設の指定を承認した。

- ①総合病院 落合病院 (岡山県)
- ②横須賀市立市民病院 (神奈川県)
- ③埼玉社会保険病院 (埼玉県)

7. 事務局長の人事について

3月31日付けで三牧事務局長が退職することとなった旨の報告。次期事務局長の就任までの間、前山口事務局長が代行して就任する旨の報告があり、承認された。

〔報告事項〕

1. 役員改選について

理事立候補(公・私病院とも定数内)の現状、本日の会議予定について説明があり了承された。

会議等	審議内容等
理事会(現行)	新代議員の選出、平成19年度事業計画、予算(案)の承認
代議員会・総会	平成19年度事業計画、予算(案)の承認
新代議員による 代議員会	代議員会議長・副議長、理事、監事の選出
新理事による理事会	会長・副会長・常任理事の選出
新代議員会(再開)	会長・副会長・常任理事
懇親会	
記者会見	会長・副会長による記者会見

2. 各委員会関係の開催報告について

下記報告があり、了承された。

(1) 雑誌編集小委員会(第5回・2月27日)

①雑誌4月号の企画・編集として、掲載項目を検討。新執行部による座談会を企画し、4月中～下旬に実施し、7月号への掲載を予定した。②新年度から雑誌の表紙の組み換え、サイズをA4とした旨の報告。

(2) 中小病院委員会(第4回・3月1日)

①第57回日本病院学会時のシンポジウムの開催要領を検討。②アンケート調査の実施について:日病学会のシンポジウムでの発表の基礎資料とするためのアンケートを200床以下の1258会員に実施する。③情報交換会の開催について:平成20年2月に岡山市で開催。

(3) 平成18年度診療情報管理士教育委員会・専門課程小委員会(第3回・3月2日)

①平成19年度の教育について:教科書、レポート問題集及びレポート提出用問題、試験問題等を検討。②平成19年度認定試験について:模擬採点も考慮し、作問委員会が実施。③第2回診療情報管理士アンケートについて:第1回～65回の卒業生を対象とし、診療情報管理士の現状調査アンケートを実施することとした。

(4) 平成18年度診療情報管理士教育委員会・分類小委員会(第3回・3月5日)

①平成19年度の教育について:教科書、レポート問題集、試験問題等についての年間作成スケジュールを確認。②平成19年度認定試験について:作問については、作問委員会で検討する旨の報告。

(5) 平成18年度診療情報管理士教育委員会・診療情報管理士教育委員会

(第4回・3月13日)

①平成18年度後期試験について:2月18日に全国18会場で実施し、受験者4,261名。②診療情報管理課程通信教育の事業の件:平成19年度より実施する診療情報管理士認定試験に伴う認定証等を検討。③認定大学・専門学校の申請の件:2校の申請、

- 2校の学科、講師変更を了承。等
- (6) 日本診療録管理学会・編集委員会(第3回・3月7日)
- ①会誌「診療録管理」第19巻第1号の編集について:発刊の進捗状況を了承。②「論文掲載証明書」の発行について:発行申請内規(案)を検討。施行日は、定款規約検討委員会、理事会(第4回)での検討。等
- (7) 日本診療録管理学会・国際疾病分類委員会(第4回・3月12日)
- ①厚生労働省から「ICDの動向について」の講演。②今後の取組みについて意見交換を実施。
- (8) 平成18年度コーディング勉強会報告(18.5.15~19.3.25)
- 15会場・101回開催・総参加者数3,555名
- (9) 予防医学委員会/人間ドック健診施設機能評価合同委員会
- ①人間ドック健診施設評価について:受診申請等を報告。②機能評価事業について:事業の申し込み開始日を平成19年10月1日とし、事前の8月開催の学術大会で正式に発表することとした。③健保連等との指定契約について 等。
- (10) 医療制度委員会
- ①日本病院学会シンポジウムについて:第57回日病学会(茨城県)でのシンポジウムの内容検討。②後期高齢者医療について:本委員会に厚労省の検討会の動向を踏まえ検討願うこととした。
- (11) 民間病院部会
- ①患者の病院選択動向調査について:本会の役員の公的・私的の病院構成を勘案し調査協力願うこととした。
- (12) 第15回人間ドック認定医研修会(19年3月10日・東京都・854名参加)
- (13) 経営管理委員会:委員会報告書として「病院経営の改善に向けて」を作成した旨の報告。
- (14) 地域医療委員会:「勤務医に関する意識調査」「医師確保に係る調査」調査報告の概要説明。厚労省の「地域医療支援中央会議」で現状説明を実施することとなった旨の報告を了承。
- ※「病院経営の改善に向けて」「勤務医に関する意識調査」「医師確保に係る調査」報告書については、関係団体、会員各位に送付することとした。
- (15) 医療経済・税制委員会:①手術時の医療材料に関する調査の実施。②病院経営分析調査の現状報告を了承。

3. 四病協関係の会議開催報告について

- (1) 理事長の債務保証のあり方に関する勉強会:通常のリファイアンス及び保証の考え方について意見交換を実施。
- (2) 総合部会:①埼玉県済生会栗橋病院の本田 宏副院長から「医師不足と医療費の国際比較」についての講演を実施。②「医療法改正に伴う省令改正等」に関して厚労省医政局指導課・金森医療法人指導官からの説明実施。③厚労省「未収金に関する検討会」の委員推薦、四病協「治療費未払問題検討委員会マニュアル作業部会」の設置を検討。④医療法人に関する研究会の設置、社会医療法人債を発行する社会医療法人に係る会

計基準設置の報告。⑤四病協・研修・認定センターの解散手続き等について:平成 18 年度末で廃止した旨の報告を了承。等

- (3) 医療保険・診療報酬委員会:中医協の動向報告。②平成 20 年度診療報酬改定に向けての要望事項等について検討。③日病協・代表者会議、実務者会議の動向報告を了承。
- (4) 臨床研修指導者養成課程講習会:3 月 9 日(金)～11 日(日)に開催し、50 名の参加(受講修了者 46 名)。

4. 日病協諸会議の開催報告について

- (1) 実務者会議(3 月 14 日)の報告として、2 月 28 日～3 月 14 日に開催した中医協の動向報告。リハビリテーション料の見直しについて検討。平成 20 年度診療報酬改定に向けた各病院団体の主要要望事項の検討。等。
- (2) 代表者会議(3 月 23 日)の報告として、①中医協の委員選出について:出席者の意見拝聴。②当協議会の議長、副議長の選出について:出席者の意見拝聴。③厚労相の死因究明制度の「裁判外紛争処理制度に関する検討会」委員として日病協から神奈川県病院事業管理者の堺 秀人氏を推薦した旨の報告。

5. 中医協の開催報告について

リハビリテーション料の見直しの 2 つの答申が了承された旨の報告があった。急性期リハには上制限があったが、循環器リハと呼吸器リハは、結果検証部会の調査結果から上限から外れても医療的意味があるのではないかと判断された。循環器と呼吸器に関して、医師の裁量で例外的疾患が認められた。もう一つは維持期リハについて、介護保険適用外の若年層の対応を、包括支払いで暫定的に認めたこと。途中改定なので財政中立で対応し、疾患別リハに逡減制を設け、維持期リハの財源を捻出した旨を説明した。今回の見直しは唐突に出され、即日に関わったという点で異例であり、国民的関心が強いことと選挙絡みの政治決定ではなかったのかと推察された。

6. 社会保障審議会医療部会(第 1 回)の開催報告について

3 月 9 日(金)の部会報告として、後期高齢者の医療のあり方について検討報告。

7. 医療情報の提供のあり方等に関する検討会(第 4 回)の開催報告について

3 月 2 日(金)の検討会報告として、広告できる事項の見直し及び広告に関するガイドラインの策定について協議した旨の報告。

8. 終末期医療の決定プロセスのあり方に関する検討会(第 2 回)の開催報告について

3 月 5 日(月)の報告として、回復の見込みのない末期状態の患者さんに対する治療法などをどのように決定するかを標準的な考え方を整理することとなった旨の報告。また、医師法 17 条との関連を意見拝聴。

9. 日本医師会医事法検討委員会(第 5 回)の開催報告について

2月23日（金）では、「医師・患者関係についての法的再検討」に対する報告書の検討を実施した旨の現状報告。

提出議題の審議を終了し、定刻に会議を終了した。